

2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年7月31日

上場会社名 株式会社ホットマン 上場取引所 東
 コード番号 3190 URL http://www.yg-hotman.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 伊藤 信幸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 伊藤 忠行 TEL 022-243-5091
 四半期報告書提出予定日 2019年8月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	4,867	2.1	95	1.5	114	2.1	74	11.3
2019年3月期第1四半期	4,769	△2.7	94	△51.5	112	△47.4	66	△51.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	10.49	—
2019年3月期第1四半期	9.43	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	14,058	6,344	45.1	899.21
2019年3月期	14,063	6,343	45.1	899.03

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 6,344百万円 2019年3月期 6,343百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	9,090	1.5	△1	—	26	119.7	△10	—	△1.42
通期	21,200	0.8	670	1.6	740	1.0	400	6.3	56.69

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	7,275,500株	2019年3月期	7,275,500株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	220,000株	2019年3月期	220,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	7,055,500株	2019年3月期1Q	7,055,500株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国の経済環境は、雇用・所得環境の改善が続く中、緩やかな回復が続くことが期待されますが、海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動の影響に留意する必要があります。景気の先行きにつきましては依然として不透明な状況が続いております。

当社におきましても、個人消費の伸び悩みや国政による人件費増加など、厳しい経営環境が続いております。

主たる事業であるイエローハット事業では、異常気象による自然災害をはじめ、季節の節目が曖昧になりつつある昨今、気候変動に影響されない安定した収益体質の構築が最優先課題となっております。

そのような環境の中、当社におきましては、会社方針に『プロセス主義』を掲げ、前々期から着手しております徹底した「経費削減」と「売上総利益率改善計画」の最終年度を迎え、その実現に向けた「過程」を重要視することにより「結果」に結びつけるべく、全社一丸となって取り組んでおります。

当第1四半期累計期間内の出退店はありませぬ。当第1四半期会計期間末の店舗数は、イエローハットが87店舗、TSUTAYAが9店舗、アップガレージが7店舗、カーセブンが3店舗、ダイソーが2店舗、自遊空間が1店舗、宝くじ売場が5店舗、セガが1店舗の合計115店舗となっております。

この結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高は4,867百万円となり、前年同期間比98百万円（前年同期間比2.1%増）の増収となっております。経常利益につきましては114百万円となり、前年同期間比2百万円（前年同期間比2.1%増）の増益となりました。四半期純利益は74百万円となり、前年同期間比7百万円（前年同期間比11.3%増）の増益となりました。増収増益の要因は主として、イエローハット事業において、高粗利である車検等カーメンテナンスの販売が好調に推移したことによるものとなっております。

セグメント別の業績は、次の通りであります。

[イエローハット]

当社の主たる事業であるイエローハット事業におきましては、前事業年度より引き続き、車検を中心にカーメンテナンスサービスやハウスカード会員の拡大を強化し、気候変動に影響されない安定した利益を確保することに注力して参りました。また、スタッドレスタイヤの増税前販売へも注力し、売上高は好調に推移致しました。

この結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高3,928百万円（前年同期間比4.2%増）、セグメント利益（営業利益）は166百万円（前年同期間比8.9%増）となっております。

[TSUTAYA]

TSUTAYA事業におきましては、書籍の品ぞろえ、レンタル旧作売場の見直しを実施し、粗利確保策に注力して参りましたが、書籍の定期購読獲得及び新作レンタルが低迷したこともあり、売上高は低調に推移致しました。

この結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高502百万円（前年同期間比5.7%減）、セグメント利益（営業利益）は1百万円（前年同期間比45.6%減）となっております。

[アップガレージ]

アップガレージ事業におきましては、長期在庫の拡販及び中古カー用品の買取を強化し欠品対策に注力して参りましたが、中古夏タイヤの販売が低迷し、売上高は低調に推移致しました。

この結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高228百万円（前年同期間比10.4%減）、セグメント利益（営業利益）は20百万円（前年同期間比22.2%減）となっております。

[その他]

ダイソー事業、保険事業並びに不動産賃貸事業におきましては、売上高は概ね横ばいで推移致しました。

自遊空間事業、カーセブン事業並びに宝くじ事業におきましては、売上高は低調に推移致しました。

この結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高207百万円（前年同期間比1.8%減）、セグメント利益（営業利益）は21百万円（前年同期間比9.8%減）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は279百万円減少し、6,890百万円(前事業年度末7,169百万円)となっております。これは主に、現金及び預金が387百万円増加したものの、売掛金が151百万円、商品が171百万円及び未収入金(その他の流動資産)が332百万円減少したことによるものであります。

また、固定資産の残高は274百万円増加し、7,167百万円(前事業年度末6,893百万円)となっております。これは主に、出店予定地の建設に伴う建設仮勘定(その他の有形固定資産)が336百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計残高は14,058百万円(前事業年度末14,063百万円)となっております。

② 負債

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は284百万円減少し、5,186百万円(前事業年度末5,470百万円)となっております。これは主に、短期借入金が300百万円増加したものの、買掛金が382百万円及び未払法人税等が289百万円減少したことによるものであります。

また、当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は278百万円増加し、2,527百万円(前事業年度末2,249百万円)となっております。これは主に、長期借入金が250百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計残高は7,714百万円(前事業年度末7,720百万円)となっております。

③ 純資産

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は1百万円増加し、6,344百万円(前事業年度末6,343百万円)となっております。これは主に、四半期純利益を74百万円計上並びに剰余金の配当を70百万円支払ったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月9日の「2019年3月期 決算短信」で公表致しました第2四半期及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	974,999	1,362,264
売掛金	578,285	426,786
商品	4,965,560	4,794,033
貯蔵品	2,038	1,800
その他	649,187	305,786
貸倒引当金	△104	△91
流動資産合計	7,169,966	6,890,580
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,997,065	1,968,430
土地	1,801,214	1,801,214
その他(純額)	485,714	826,522
有形固定資産合計	4,283,994	4,596,168
無形固定資産	15,366	14,734
投資その他の資産	2,594,121	2,557,067
固定資産合計	6,893,482	7,167,970
資産合計	14,063,449	14,058,551
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,075,421	692,907
短期借入金	2,350,000	2,650,000
1年内返済予定の長期借入金	622,512	697,462
未払法人税等	318,859	29,023
賞与引当金	91,000	15,583
ポイント引当金	258,149	268,848
その他	754,904	832,362
流動負債合計	5,470,845	5,186,187
固定負債		
長期借入金	630,012	880,013
退職給付引当金	1,153,566	1,185,525
役員退職慰労引当金	145,699	146,792
資産除去債務	152,255	153,041
その他	167,987	162,585
固定負債合計	2,249,519	2,527,957
負債合計	7,720,365	7,714,145
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,910,645	1,910,645
資本剰余金	500,645	500,645
利益剰余金	3,908,204	3,911,662
自己株式	△108,380	△108,380
株主資本合計	6,211,114	6,214,573
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	131,969	129,832
評価・換算差額等合計	131,969	129,832
純資産合計	6,343,084	6,344,406
負債純資産合計	14,063,449	14,058,551

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	4,769,166	4,867,400
売上原価	2,573,881	2,591,644
売上総利益	2,195,284	2,275,755
販売費及び一般管理費	2,101,212	2,180,236
営業利益	94,072	95,518
営業外収益		
受取配当金	4,606	6,257
受取手数料	7,017	7,114
産業廃棄物収入	7,159	4,690
その他	7,410	7,910
営業外収益合計	26,194	25,973
営業外費用		
支払利息	7,627	6,525
その他	460	426
営業外費用合計	8,088	6,951
経常利益	112,178	114,540
特別損失		
固定資産除却損	523	30
特別損失合計	523	30
税引前四半期純利益	111,655	114,509
法人税、住民税及び事業税	9,843	10,815
法人税等調整額	35,304	29,680
法人税等合計	45,147	40,496
四半期純利益	66,507	74,013

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	イエロー ハット	TSUTAYA	アップ ガレージ	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,769,247	533,081	255,317	4,557,646	211,520	4,769,166	—	4,769,166
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	8,385	395	116	8,897	2,892	11,789	△11,789	—
計	3,777,633	533,476	255,433	4,566,543	214,412	4,780,956	△11,789	4,769,166
セグメント利益	152,542	2,433	26,373	181,350	23,915	205,265	△111,192	94,072

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ダイソー事業、自遊空間事業及び保険収入等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△111,192千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	イエロー ハット	TSUTAYA	アップ ガレージ	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,928,091	502,855	228,656	4,659,603	207,796	4,867,400	—	4,867,400
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,674	422	130	5,227	2,653	7,881	△7,881	—
計	3,932,765	503,278	228,786	4,664,831	210,450	4,875,281	△7,881	4,867,400
セグメント利益	166,127	1,324	20,516	187,968	21,560	209,529	△114,010	95,518

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ダイソー事業、自遊空間事業及び保険収入等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△114,010千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。